

「あれ、あなたもこの会に？」～北京での日本人の交流会～

北京事務所

北京には、現在約 1 万人の日本人が暮らしているといわれています。どんなに日本と近くても、ここはやはり日本語の通じない外国。多くの日本人が中国に来てからお世話になるのが、日本語で書かれた日本人向けのフリーペーパー。北京には日本人向けのフリーペーパーが幾つかあります。それらに共通して、レストランや日本人向けの食材販売など食事に関するものとともに毎号掲載されているのが、同窓会や県人会などの日本人の交流会に関するものです。北京に暮らす多くの日本人が何らかの会に加入しているばかりか、複数の会に参加しているケースが多いです。そのため、ある会合に行くと別の会で知り合った方がやはり参加していて、「あれ、あなたもこの会に？」というようなことが多く生じます。



フリーペーパーにぎっしり募集が！

多様な日本人交流会

在北京の日本人の交流会には、オフィシャルなものからプライベートなもの、数百人規模のものから数人規模のものまで、多種多様なものがあります。それらを勝手に定義付け大別すると、

- ①オフィシャルなもの（会員資格がほぼ全員にある又は一定の社会性をもつもの）
- ②県人会や同窓会などプライベートなもので特定の資格条件のあるもの
- ③クラブ活動など希望すれば参加できるもの

といったところでしょうか。では、それぞれの代表的なところを簡単に紹介します。

まず、①の代表格は、何といても「北京日本人会」です。基本的参加資格は「中国に居住し日本国籍を有する満 18 歳以上のもの」となっており、事実上、中国にいる全ての日本人が入会可能です。同会では、全体事業として年一回の総会・懇親会、日本人まつり（夏祭り、秋祭り）、クリスマスパーティーを行うほか、様々な活動を行っており、北京に住む日本人の家族ぐるみの交流の中心的存在です。次に、フリーペーパーでも特に目立っているのが②です。異郷の地で色々な意味で心強い存在なのは、やはり同郷の人、あるいは同じ学び舎で過ごした「近しい」間柄の人でしょう。そうした結びつきを北京に暮らす多くの方が求めているらしく、どこからともなくお誘いいただいたり、人数の少ない県人会や同窓会同士が結びついて一定の規模を保っていたりしながら、根強く活動をしている

ようです。当事務所職員の数名も、自治体から派遣されている性格上、出身地の県人会の幹事などをつとめ、その活動をお手伝いしているようです。③についても多数あり、コーラス同好会や各種スポーツ同好会、北京日本人学術交流会などの日本人会所属の同好会から、その他共通の趣味を持つ方々同士のプライベートなものまで、好みに応じて様々な交流会に参加することができます。



心和む県人会の一コマ

交流会に参加してみれば

日本人の交流会に参加することの利点は色々あります。外国に行ってまでわざわざ日本人と交流しなくても、という考えもありますが、この場合はむしろ、外国にいるからこそ、という点を強調しておきたいと思います。

まず、不慣れな外国での生活では、食事や買い物など日々の生活のための情報を手に入れる必要がありますが、同様に当地で暮らしている日本人ほど頼りになる情報源はありません。次に、日本ではなかなか交流することのできない多業種の方との交流を持つことができます。当地に赴任して、このことの重要性を強く実感しました。異業種の方々のお話を聞かなければ思いつけない業務上のヒント、実体験から得ている中国の方々と上手にお付き合いするための知識を聞くことができるなど、様々な利点があります。また、業務上のお付き合いのある方と、業務から離れた交流会でたまたまお会いして交流を深め、それからのその方との業務上のお付き合いがそれまで以上にスムーズにできたこともあります。また、日本ではなかなかお話しすることのないような方とお話しする機会もあります。私自身、ある交流会で、赴任されたばかりの大使とお話しする機会が得られ、直接に、日本の地方自治体のため、派遣元のために頑張るように、と、励ましていただきました。このようなことは日本ではなかなかありえないことだと思います。

もちろん、このような交流会で皆様と交流できるようにするためには、日頃から、業務のことだけでなく、色々な事にむけてアンテナを張って、自分を磨いておく努力は必要です。そして、こうして得られた財産は、帰国後もきっと私たちの財産として残っていくものだと思います。

(常金所長補佐 香川県派遣)